

その転職は後悔しませんか？

～転職成功に必要な心構え～

坂本 典隆

まえがき

私は日々、人と企業が夢を描ける懸け橋として求職者（転職希望者、転職相談者、キャリア相談者等）と企業のお互いの幸せをつくる仕事をしています。その中で、「転職」「仕事」というキーワードを軸にあなたの心に伝わる「キツカケ」をお伝えしたいと思います。最初に、私自身転職は三回経験しており、合計四社で経験を積んだ後、現在の会社である株式会社キャリア経営パートナーズを起業しました。一般的には転職回数が多いと言われましたが、人財紹介事業をスタートした際に独自のこだわりの一つとして「転職回数の多さや年齢を重ねていくことはプラス要素と考えます」と決めていました。よって本書は転職を否定する考えではなく、充実した人生を送るために転職や仕事をどのように捉えたらいいのか、私自身の実体験も含めて本質的に話したいと思えます。仕事柄、幅広い年齢層の方の転職という運命の分岐点に関わらせていただく中で、最後の転職、悔いのない転職、入社して良かったと思える転職をいろいろと見てきました。一人一人にストーリーがあり、人生を映し出す瞬間でもあります。もちろん、失敗した……という転職も知っています。

今の時代、終身雇用制度も崩壊したと言われる中、不安を抱え訳も分からないまま転職を繰り返している方が後を絶ちません。転職をする事で仕事の経験が積み上がれば良いのですが……怖い事に、それが積み上がる事なく毎回リセットされています。キャリアという全体像で捉えようと、勤続年数も短いまま積み上がるのとは真逆とも言える「断絶」している状態の方も多いのです。二十代や三十代のような若い時代は大きなダメージになりにくいかもしれませんが、三十代後半〜四十代に入ってくると転職できずにキャリアが繋がらない、つまり断絶した状態で社会での活躍の場が閉ざされるケースもあるかもしれません。そうならないためにも、可能性を広げる

事、自分自身の価値観の優先順位を明確にする事で、転職においておさえるべき内容が分かってくるのではないだろうか。今回の本の内容は、小手先だけのテクニクをお話しして転職をゴールにした内容にはしていない。面接対策や書類作成等、テクニク本は世の中に溢れております。しかし、多くの方が短期勤務で転職を繰り返しているのはなぜでしょうか？そこにはいろいろな理由が存在すると感じております。そもそも、ゴールが入社であるのも一つの要因かもしれません。正直、テクニクや小手先で入社をしても勝負はその後になるため、仕事において正しい考え方や物事の捉え方が分からず、苦労している方が多いのかもしれない。現実的に入社が目的になってしまっており、転職をする前の考え方、本質を捉えた面接、そもそも転職とは何なのか？仕事をするという事は？等、本質とすべき根本的な部分が抜けてしまっていると私は感じております。テクニクではなく、想い、本気さ、情熱、覚悟、決意、目的……本当に大切なのはこのような事です。

例えば、覚悟を決めた瞬間に発言が変わったり、表情や態度が変わったりする方を見たことはありませんか？思考や行動も、まるでスイッチが入ったかのように大きく成長する方もいらっしゃいます。私自身、いろいろとそういった方を見ってきました。

本書を読み進める事で、仕事や転職について考えるキッカケになり、三年後、五年後、十年後が楽しみみな自分の姿が描けそうだと感じていただければ幸いです。もしかしたら、いつか訪れるかもしれないあなたの人生の分岐点で、この本がもう一度新しいヒントに繋がると嬉しいのです。受け身ではなく、自らの力で立って未来を切り拓く事ができる強さや想いを持つ事ができれば、不安と隣り合わせの毎日から希望に胸膨らむ未来へ変わっていくのではないのでしょうか？

一つのヒントとして、仕事の捉え方を変えると、仕事に対する意味付けも変わります。会社の中には素晴らしい

方も多いので、いろいろな話に耳を傾けてください。例えば私のケースで言えば、新卒で入社したメガネチェーン会社の先輩から聞いた言葉で社会人としての人生が変わりました。今でも覚えています。メガネの販売という仕事は、単純にメガネを売る仕事ではなく、「お客様の人生を変える素晴らしい仕事である」と。この先輩の言葉を聞いて、仕事にのめり込んでいきました。仕事に対する意識が本当変わった瞬間です。それまでは、嫌な事が多く逃げたいと考えた事もありました。

誰でも仕事をしていると良い時もある、悪い時もある、山あり谷ありの状態です。転職が頭をよぎることもあるかもしれませんが。転職は一つの選択肢であり、すぐに他の会社で勝負をする事も、今の会社で歯をくいしばってやり切った時にもう一度考える事も、素晴らしいと思えます。一番やめておくべきことは逃げの転職です。この行動は、長期的に見るとマイナスになる事があります。それは、本編をお読みになれば、おのずと感じる事かもしれません。キャリア＝人生と置き換えるなら仕事は人生において多くの部分を占めるものになります。転職を考える場合、転職にも種類があると考えます。何のためにあなたは転職をしようと考えていますか？「転職を試みてどんな気持ちですか？ また転職をしようと思えますか？ 常に最後の転職だと考えていますか？ 一人一人の答えは違うのではないのでしょうか。実際に、仕事をしながらの転職を成功させる秘訣は、今の仕事に最後まで真剣に取り組む事です。社内の誰よりも真剣に一生懸命にです。転職を考えたと時に、在職の方が失敗する畏として本業の真剣さが薄れるという事があります。これは、多くの方に起こると思えますが、これでは面接で力が発揮できないと考えます。今の仕事に手を抜く人を、企業は採用しないという事です。それは、体からオーラとして出ていたり、発言で分かったりするので、ごまかせないのです。逆に考えれば簡単です。転職を考えていたとしても、今の仕事に一生懸命向き合える責任感のある人は企業側としても採用したいという事です。これ

が運命の分岐点だと私は考えます。

このような本質の部分をこれからいくつかご紹介いたします。今回、多くの夢や希望が溢れる社会を想像して、私は本書を書かせていただきました。この本を読んで、内容の全てに共感をしていただきたいとは考えておりません。価値観も立場も環境も一人一人全て違うから……そして、数年後には必ず年齢が変わり、考え方も成長しています。だからこそ、環境は変わったとしても、この本の、この言葉、この一文など、何かの時に思い出してください。あなたが力になったら私は嬉しいです。記憶に残り、人生の分岐点で読み直しができて、まるで人生のパートナーのような本になったら幸いです。たとえば、転職をした後でもその会社と繋がっている、その会社のファンである、その会社への感謝の気持ちが一生涯消えない……そのような仕事で積み上げた人生⇨キャリアは、あなたにとってかけがえのない財産になると考えます。そんな未来を創造する一ページをこれから読み始めてください。想いを込めて綴った本書を、ぜひ、お楽しみください。

坂本 典隆